



復興庁

Reconstruction Agency

東京

スーパー

おお
このピーマンは
美味しそうだな

……と

……あー

どうしたの？
あなた
買わないの？

ああうん……

福島県産だった
から

池田ミツキ
高校2年生

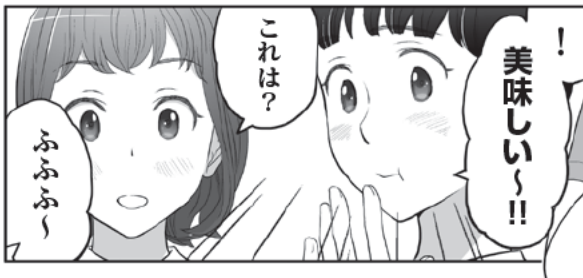
！

大丈夫でしょ

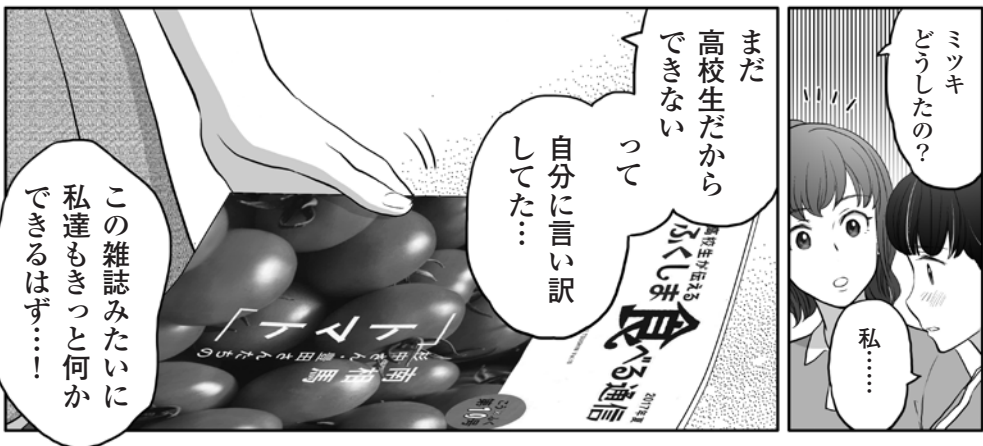
まあわかって
るんだけど
とりあえずね

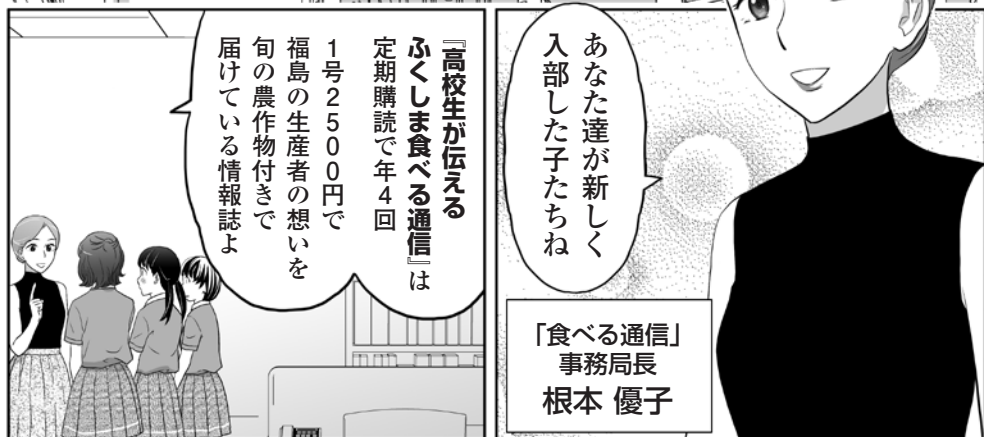
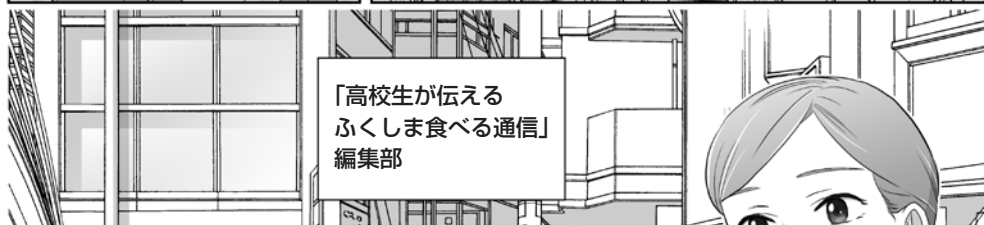
……



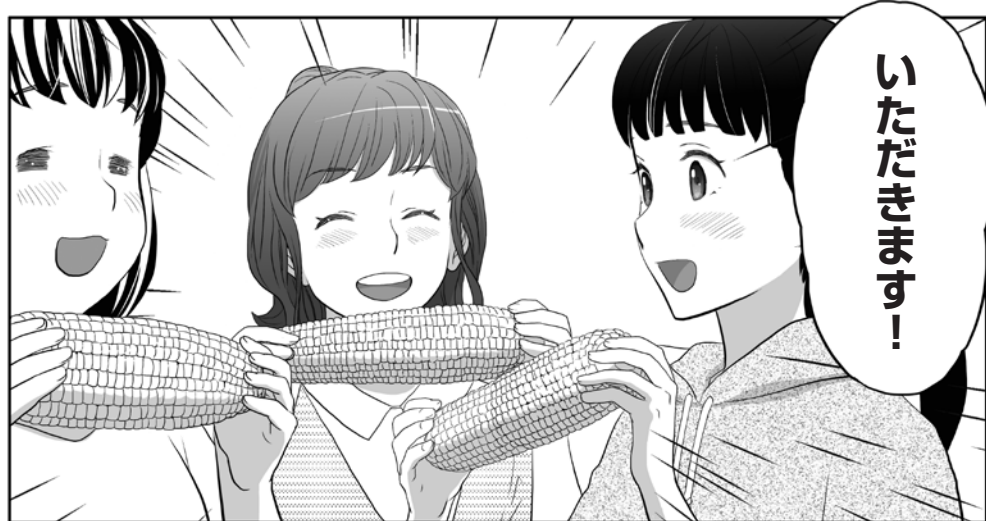
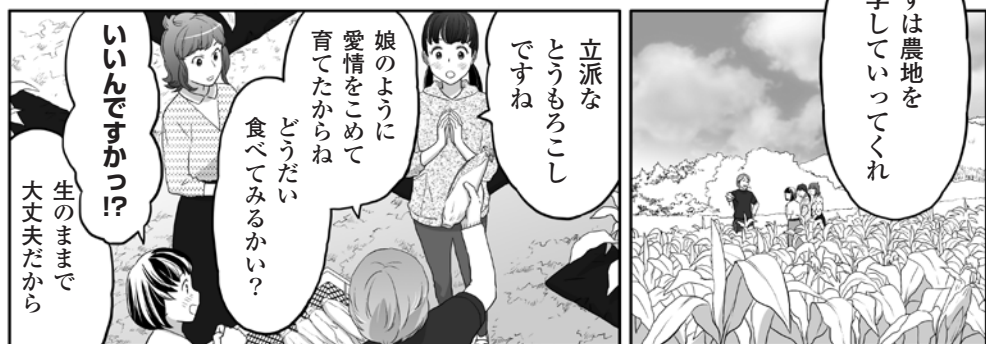














うわあ

甘い！

フルーツみたい！！

実がぎっしり！

深みのある香りが
口の中に広がる〜！

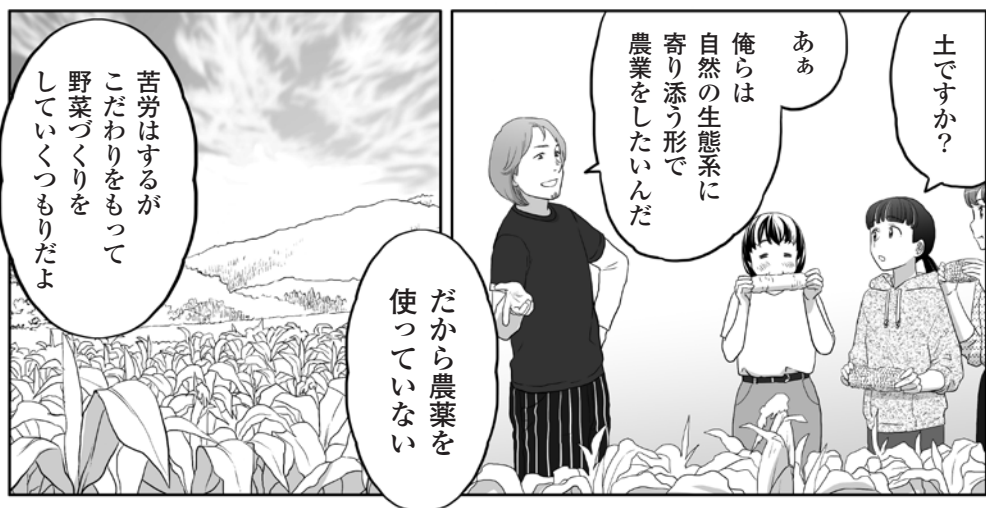


最高！

編集部入って
よかった……！！

美味いだろ

うちは
土づくりから
こだわってる
からね



土ですか？

ああ

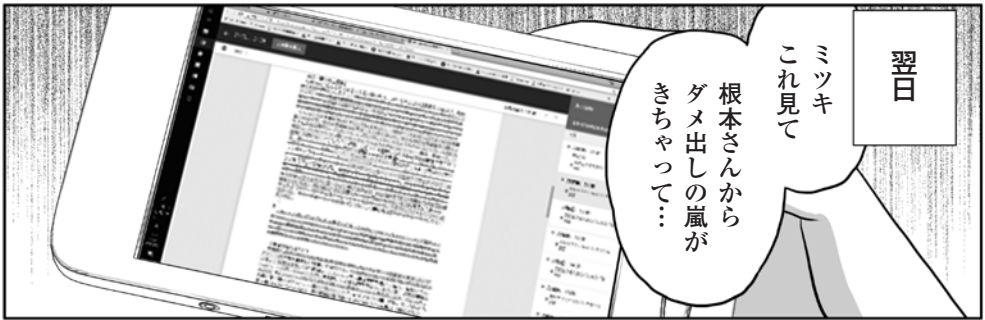
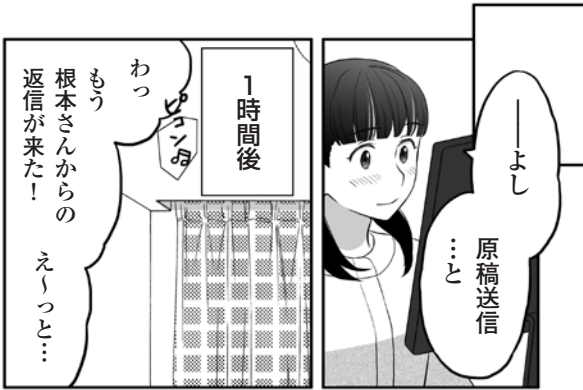
俺らは
自然の生態系に
寄り添う形で
農業をしたいんだ

だから農薬を
使っていない

苦労はするが
こだわりをもって
野菜づくりを
していくつもりだよ







……けど

あの農家さんの
気持ちは絶対に
伝えたい……!

しかし
その後

何度原稿を
送っても
ほとんど赤で
戻ってきた

もう何回目……

『ぐぐってわかる
情報は絶対書くな!』

『ふわっとした
言葉を使うな!』

『お金を

頂いているんだから

プロとして

恥ずかしくないものを
書きなさい!』

何度書いても
戻ってくる……!

どう書けば
いいんだろう

……
先輩たちの文章を
もう一度見直して
みようかな

2017年度
食の通信
しまえろ
南相馬
トマト





根本さん

どうして
ここに!?

あなたから
記事が送られて
来ないから

取材し直して
んじゃないかな
って思ったの!

ちゃんと連絡
してもらえないと
困るわ

心配したん
だから

す…すみません

で
今回はちゃんと
取材はできたの?

……実は私

バックナンバーを
読み直したんです

これまで私

きれいな文章とか
整理された情報とか
伝え方ばかり考えて
記事を書いてました

けど…

私が伝えなきゃ
いけなかったのは

きれいな文章など
じゃなくて

『本当においしい
ものを作っているから
是非食べてほしい』
っていう

農家さんの
エネルギーだって
気がついたんです

先輩たちの記事からも
それがビンビン
伝わってきました

だから…

もう一度ここで
エネルギーを
注入して
もらおうと思って

…ふふふ

よく
気が付いたわね

読者が
知りたいのは
高校生の
あなたたちが
伝える

純粹に感じた
農家さんの想いよ

はいっ!!

よかった……!

次は
いい記事が
書けそうね

にこ

数週間後

私が書いた
文章だ！

本当に
雑誌になった…!

すげー！
当に

一人でも多くの人に福島の今を知ってほしいね!!

あら立派な
とうもろこしねえ

見てお母さん
美味しそうな
とうもろこしが
はいってるよ！

大したもんだ

ほら
そのまま生で
かじれるぞ！

作ってくれた人の
ことがわかると
いつもより美味しく
感じるね



数日後

見て見て！

フェイスブックに
読者からの声が
届いてる！！

『1000キロの道のりを越えてとうもろこしが来た！
本当に美味しい！』

『生でとうもろこし食べたのはじめて！！
紹介してくれた編集部みなさんありがとう』

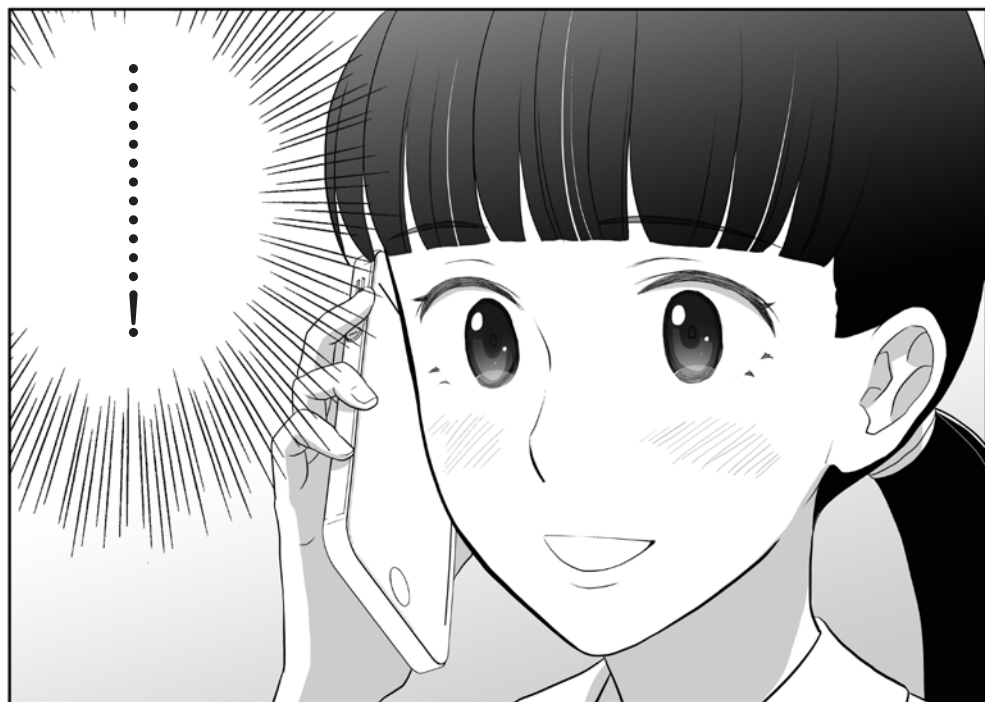
『作ってくれた農家さんの想いも届きましたよ
今度は福島に行って食べてみたいです』

届いてる…

ちゃんと
私たちの声が…！

嬉しいね…！！

根本さん
からだ





そんなこと
ないわ

あなた達が福島のを
本当にいいところを
紹介しようとした
気持ちが伝わったのよ



初めての取材にしては
いいモノができたわね

根本さんの
おかげです



はいっ！

福島にはまだまだ
紹介したいことがあるから
わたし

頑張ります……！！



ありがとう
ございます

けど

もう次の取材を
始めてね！